

## 単位施工単価の解説

### 1 導入の背景と目的

建設業界の健全な労働環境を整備し、担い手不足の解消に資することを目的に導入されました。

法改正への対応：「担い手3法」の改正により、適切な水準の労務費（賃金の原資）の確保が求められるようになった。

見積の適正化：元請業者と下請（専門工事業）の間で、根拠に基づいた適正な価格交渉ができるようにする。

労務費の透明化：職人に適切な賃金が支払われているかを、発注者が確認できるようにする。

### 2 単位施工単価とは

従来の「市場単価」は「材工一式」の金額であるため、その中に含まれる「労務費」がいくらなのか見えにくいという課題がありました。これを解消するために導入されたのが「単位施工単価」です。

### 3 現在の対象工種

令和8年2月時点で、建築工事の中でも主要な以下の工種で導入されています。

- ① 鉄筋工事（鉄筋加工・組立、スパイラル筋取付）
- ② 圧接工事（鉄筋ガス圧接）
- ③ 型枠工事（普通合板型枠、打放し合板型枠）

### 4 単位施工単価の構成

単位施工単価は、「ベース単価」と「シフト単価」の2種類で構成されています。

種類	内容	算出方法
ベース単価	細目工種を代表する規格・仕様の単価	材料単価、労務単価を用いて算出
シフト単価	ベース単価以外の異なる規格・仕様の単価	ベース単価を基準に、市場の取引実態に合わせて調整して算出

### 5 ベース単価とシフト単価の算定方法

ここでは「鉄筋工事」を例に、説明します。

#### 細目工種（抜粋）

種別	細目	摘要
ベース単価	鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純（以下「RC3.5」という）
シフト単価	鉄筋加工組立	SRCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純（以下「SRC3.5」という）
シフト単価	鉄筋加工組立	RC壁式構造 階高2.8m程度 形状単純

「鉄筋工事」では、代表的な規格・仕様である「RC3.5」がベース単価です。

ベース単価については、国の公共建築工事標準単価積算基準に定める歩掛りと宮崎の材料単価、労務単価を用いて算定します。

(RC 3.5) (1t 当たり) ※ (注) は省略

名称	摘要	単位	所要量	備考
鉄筋工		人	1.88(0.5)	
普通作業員		人	0.38(0.21)	
結束線	# 21	kg	3.6	
工場管理費		式	1	(労) × (30~50%)
その他		式	1	

シフト単価については、算定したベース単価を、以下のように建築施工単価及び建築コスト情報に記載されている単位施工単価で調整して算定します。

ここでは「SRC3.5」を例に、説明します。

$$\begin{array}{l} \text{シフト単価} \\ \text{SRC3.5} \end{array} = \begin{array}{l} \text{算定した} \\ \text{ベース単価} \\ \text{RC 3.5} \end{array} \times \frac{\begin{array}{l} \text{建築施工単価及び建築コスト情報} \\ \text{に記載されている同一規格・仕様} \\ \text{の「宮崎のシフト単価」の平均値} \\ \text{SRC3.5} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{建築施工単価及び建築コスト情報} \\ \text{に記載されている} \\ \text{「宮崎のベース単価」の平均値} \\ \text{RC 3.5} \end{array}}$$

注意：建築施工単価及び建築コスト情報に「宮崎のベース単価及びシフト単価」の記載がある場合は、平均することにより近似値を求めることはできませんが、県では上記歩掛りや調整式を用いて算定した単価を採用しています。

【宮崎の単価が物価資料に掲載されていない場合】

ここでは「圧接工事」を例に、説明します。

「圧接工事」では、代表的な規格・仕様である「D25-D25」がベース単価です。

ベース単価については、物価資料に宮崎県の単価がある場合と同様に、国の公共建築工事標準単価積算基準に定める歩掛りと宮崎の材料単価、労務単価を用いて算定します。(歩掛り省略)

シフト単価については、算定したベース単価を、以下のように建築施工単価及び建築コスト情報に記載されている福岡の単位施工単価で調整して算定します。

ここでは「D22-D22」を例に、説明します。

$$\begin{array}{l} \text{シフト単価} \\ \text{D22-D22} \end{array} = \begin{array}{l} \text{算定した} \\ \text{ベース単価} \\ \text{D25-D25} \end{array} \times \frac{\begin{array}{l} \text{建築施工単価及び建築コスト情報} \\ \text{に記載されている同一規格・仕様} \\ \text{「福岡のシフト単価」の平均値} \\ \text{D22-D22} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{建築施工単価及び建築コスト情報} \\ \text{に記載されている} \\ \text{「福岡のベース単価」の平均値} \\ \text{D25-D25} \end{array}}$$